

パネル展示を見て

1月14日 小学4年生ぐらいの子共が、いかに怖いかを述
(木) げているのを見て、おなごに押しつけた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

神戸新聞の三好さんの言葉をきいて、地震がおきて3日経たずとも
火はもっていたのをきいて、あらためて火はこわいと思
いました。地震のワイスのようになことをしたあとに見たスライド
では、家、高速道路、車がたおれていっているのを見て、やはり
はげしかったということがわかりました。

パネル展示を見て

1月 日 車が通る道がつぶれておちる。知っている所が
() クチクチつぶれた所を今は、ものすごく
キレイになっているからすごいと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は、お母さんにたまに当時の事について聞いた
事があります。母は、中3だったらしい。その時は、みん
なねていてあぶなかつたそうです。外に出るとさきまで
きれいだった所がクチクチたつたそうです。
ものすごくちがう所に見えたそうです。
その時は、中3で、周りの事がよく理解できた様です。
26年がたつた今でもあの日時の事は、豆真のかたすみにも
あるそうです。
パネルでもそのしんせいの時のクチクチの時の写真を
見ると今とぜんぜん違いました。

パネル展示を見て

1月15日

(金) パネル展示を見て、地震直後からの様子がわかって、とても
大きい地震はいつ来るかわからないので対策をしておこうと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて、新聞社の仕事はとても大変だけど、その分
やりがいのある仕事なんだと思いました。被災してすぐ、何が
起きているのかわからない状況の中、すぐに新聞を作ろうと
しているのが、とてもすごいと思いました。災害についても、地震だけ
ではなく台風による雨など、たくさん種類があるので、災害について
よく知り、考え、対策をしておくことが身を守ることに繋がると
いうことがわかりました。先日はありがとうございました。

パネル展示を見て

1月14日

(木) 地震が起きた時から既に壊滅的な状態だったと知り
ました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

自然災害は、起きることは防げないけれど、被害を減らすことは
できると改めて分かりました。

新聞のためにひどい光景を写真にするのはとてもつらく、大変だったよう
です。今まで数多くの自然災害が起きているけれど、新聞社の人には
そのたびに重い思いをして現場へ行って写真をとらないといけなく、そこから
編集は大変だったと思いました。

パネル展示を見て

1月14日 JR六甲道がくずれているのを見てこんなに
(木) 身近な場所がひどい姿になっていてとてもおどろきました。大きい建物もこわれていたので震災のこわさが
分かりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

阪神・淡路大震災はとても大きな災害だけど平成には他にも
とても大きな災害が多く起きていることを知り、とてもおどろ
きました。講演会を開いていただいたおかげで、色々な
災害のことについて詳しく知れました。高速道路や
大きなビルがたおれているのを見て自分は経験し
ていないが阪神・淡路大震災がどんなものだったのかと
てもよく分かりました。災害が起きる前に避難の準備を
しておくことで少しでも被害を減らすことができると思いま
した。講演会を開いていただきありがとうございました。

パネル展示を見て

1月14日 JR六甲道が今の姿のおもかげもないくらい
(木) につぶれていて、阪神・淡路大震災の強さ
が写真から感じました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

2021年までに多くの災害があっても復興をしてい
ているのですごいなと思いました。阪神・淡路大震災
が起きたことの状態を伝えてくれて、受け継いで
いきたいと思いました。新聞社の人たちがいな
いと、被災した人々は今、どうなっているのか、
どうしたらいいのか、わからなかったと思います。
新聞を一生懸命作ってくれたので、神戸は
復興したと思います。そして、私たちの地震
を体験していない世代にも伝えたと思います。
講演会、ありがとうございました。

パネル展示を見て

1月4日

(木) 当時の神戸市の様子がよく分かった。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて当時の神戸は神戸市民やそれ以外の人の協力で乗り切ったのだとあらためて分かった。また、新聞記者が苦しい思いでとっていたのだと思つて胸が熱くなった。また、「この災害のことを忘れてはいけないな」と思った。死んでしまった人々の分まで生きていく僕達が生きていけないと思つた。

* 廿 五人 日

パネル展示を見て

1月4日

(木) パネル展示を見て、神戸市では、大きな高速道路が地震で倒れるなど、とても大きな被害がたくさんあったことが分かりました。そして、神戸市はどんどん復興していくところがすごいと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会で話を聞いて、今までに各地で起こった大きな災害はたくさんあって、たくさんの被害があったことが分かりました。そして、神戸市でも、当時国内初の震度7のとても大きな地震があって、たくさんの方が亡くなってしまったのを知って、改めて地震はとても恐ろしいと思いました。また、神戸新聞の仕事では、震災が起きた当時は、京都の新聞会社と協力しながら、不安な人々に状況を伝えるために記事を作ったことがとても大変なのにすごいと思いました。そして、新聞を完成させるために、被災者の方を助けたくてもカメラを向けてシャッターを切らなければいけないことがつらそうだと思いました。今まで阪神・淡路大震災についてくわしく知らなかったけど、今回、改めて災害の恐ろしさを知ったので、これから自分の命も周りの人の命も守るために、まずは避難所の確認や家具の固定など、自分にできることから対策をしていきたいです。

パネル展示を見て

1月14日 震災当時の写真を見て、自分がもしその場にいたり絶対パニックになっていると思います。その中で生きている人たちがどんな大変かが良く分かりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

震災を体験した記者さんの話しを聞いて、当時どれだけつらく、大変なかが分かり、その中で新聞をつくるためにどれだけ必死だったのかが想像でしかないけれど、精神的にも肉体的にもとても大きなダメージが入ったのが良く分かりました。また、新聞社の人々は家族よりも人々に情報をあたえるために、どれだけ心に深い傷をおい、なみだを流したかを考えると、新聞社の人たちはとてもすごく、被災者の人たちにとってどれだけありがたかったかが想像がつかえません。地震はこわい。ただそれだけしか体験していない自分は、この言葉しか言えません。

パネル展示を見て

1月15日

(金) パネルを見て、被害の大きさがよくわかりました。また、震災後の人々の姿、どのように住んでいたのかを知ることができました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて、災害がおきて初めて学ぶこともたくさんあるんだとわかりました。阪神・淡路大震災以外にも台風や津波など様々な災害がおきていて、その中でたくさんの方がなやんでいるとわかりました。また、講演会の中で一番学んだことは、災害を防ぐことはできないけど被害を少なくすることはできるということです。災害は自然のものでいつおきるかは予想できません。でも、災害がおきる前に準備をしておけば、はやく避難することもできるし、けがや病気になる方も少なくすることができます。家族とどこで合流するかは決めておけばはやく見つかることもできます。今はコロナもあり、災害がおきたときの対処法がわからなかった。なので講演会の中で学ぶことができてよかったです。地震以外にもたくさん災害があり、それぞれに合わせてどう対処していくかを家族で話し合いたいと思いました。

パネル展示を見て

1月15日

(金) あの写真を見ると、今の神戸がうそみたい
です。こんなにきれいにかきうけるのはまるでオセキのようです。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

自分たちは大きな震災などで、体験したことばかりから、わか
りやすい話を聞くだけでも、つらく、かたしい事だとわかり
ました。どれほどつらく、苦しく、かたしい日々が来ても、
あきらめずこのリコネクト、ツイッターを七けるところに感動しま
した。新聞社として一度もよんだことがないけど、これをきか
い読んでみようと思いました。震災のことは、何度も
親から聞いたことがありますが、けれど少し高土せにすんで
いたので、ゆれはそれほど強くはなかった。と言っていました。
けれど、空から白い物が降って、雪だと思ったり、戻らな
い。と言っていました。けれど、震度7を実際に体験したの話を思
いおぼしてました。

パネル展示を見て

1月14日

(木) 高速道路や馬車が倒れているのを見て、いつも
よく通ったりする所だから、とても怖くなった。少しでも被害を減らす対策

すごいと思

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

・たくさん阪神淡路大震災が起きたときの写
真を見て、大きな建物が倒れたり、町全体
が火事で煙におおわれていたり、神戸の
被害を知り、今の神戸はとてもきれいだから、復興して良かった。
・新聞社の人、みんなと同じでとても不安に
なっている中、地元の人、情報を求めている人の
ために苦しくても写真をとったり、記事をかいたりし
て本当に、すごいと思った。
・今回の授業で地震などの災害についてたくさん知識が
増えたから、その知識を活かして、災害の被害を最小限にできるようにしたい

備えたい
思った。

パネル展示を見て

1月15日

(金) 自分がよく見ていた風景が26年前には
あんな姿に変わっていておどろいた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

小学校から毎年、阪神・淡路大震災や地震のことを
学んできたけど、地震はいつもの日常をくつがえす、恐ろしい
ものと改めて理解できた。

新聞社の人々が言っていた「あのとき、ねてたところにおりかたのように
地震は直前の行動で全部変わっていくから怖いと思った。

日本は多くの自然災害にあっていくから、そのことを未来に
残し、防災のことをより多く知ってもらえればいいと思った。

今日はありがとうございました。

パネル展示を見て

1月14日

(木) 地震がおきたときその場にいらなくても、どんな地震だったのか
どんな被害をもたらしたのか、その写真だけでよく分かりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会で実際に地震がおきたときに新聞をつくらっていた新聞社
の方から話を聞き、地震のこわさを知りました。でも、いつ地震が
おきても大丈夫なようにどう避難するのが一番良いか、今はコロナ
もあるからその状況の中で何を優先的に持っていくかなど、詳しく
教えてもらい、よく理解することができました。また、地震がおきて

パニックになったり自分の家族の事だったりもっと心配しなきゃいけない
事があるのに、神戸新聞社の方達はいつでも早く新聞を届けて
どうなっているのか伝えようとしていたし、その新聞を受け取った
町の方達もとても喜んでいたので新聞はふたたび読んでほしいと、
大切だなと思いました。

パネル展示を見て

1月15日

(金) 今の神戸の町からは想像できないくらい町がめちゃくちゃになっていた。町がきれいになったのも神戸市民の「自分たちの町を直したい」という気持ちのおかげだと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

自分の町が大変なことになっている様子を写真でとるのは、とてもつらいことだと思っ、三好さんがなんとも言っていたように、災害のときはその経験を生かして、次に生かすことも大切だと思っ。また、新聞の記事を読んで、当時の記者さんが感じた阪神・淡路大震災のおそろしさや悲しみがよく伝わってきた。次またいつ起こるか分からないので、今まが習ってきたことを生かせるようにしたい。地震が起きたとき被災者の方は情報を求めているということが分かったので、その上で新聞社の仕事はとても大切で、どうしても必要になると思った。

パネル展示を見て

1月15日 パネル展示を見て、私は、同じ場所でも、26年前のこの

(金) 場所は別世界だと思いました。今はキレイですが前は、き、ととても大変だったことがパネルを見るだけで、つたわってきます。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は、新聞社の人に話しを聞いて、平成のあいだ「た」だけでもたくさん、災害があったことを知りました。火山の噴火、地震、豪雪、台風など。その中でも、阪神・淡路大震災は、特に、いんしょうてきな地震です。国内初の震度7が適用されたことを初めて知った時は、おどろきました。新聞社の人、取材として見て、初めて知った事があるときいたときは、き、と私をまだまだ知らないことがたくさんあるんだと思いました。なので私は、これから、災害の事や防災について学び、そして、況、ここで起きたときに、ひがいをすこしでも、減していけたら、思っます。

パネル展示を見て

1月15日 JR六甲道が目の前にある写真も高速道路がたお
(金) れていて、リマがたたく土ん家の家がつぶれている写真も。
火事の写真を見て地震の恐ろしさを改めて感じた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

地震というのをおこってからは、日々よく備えなければ、家族で備
えなければ、アリのあててみて困るから、しっかり家族と話し
合って必要なものを決めたり、避難場所を決めたりして、丸
のこして、けいではなくその後のことまで考えて家族で備え
た... と思いました。新聞記者が歩き回って来ていて、
から今、写真が撮られて、被害の大きさが分かる、地震の
怖さがわかる。新聞記者のおかげで、防災や防災の素
識が高まっている。そのときはおこらなくてもおこ
ると人のためになる、しているところもある。自分も人
のために働けるよう、対人関係はやはり大切の人を求めていると感

パネル展示を見て

1月15日
(金) パネルの被害の写真だけで地震がどれだけ大きい

ものだったのかよくわかり、悲しい思いをしなから、ふっとうに向け、前向きにか
んばっていたのだと感じた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

身の周りには、日々たくさん自然災害がおきてい
て、いふそれが自分にやってくるかは誰も分からない
から、命をおとししてしまうことがある。だからいつ災害が
おきてもし冷静に行動ができるように計画を立てておくこ
とが大変。

新聞社の仕事は、市民に正確な情報を届けるだけ
でなく、今の社会の現情を伝えることや、新聞を通して
市民に希望をあたえることだと決めた。正確な情報
を届けるとともに、市民にとって希望となる情報も届け、
新聞社と新聞を読む市民がいてこそ新聞があるのだと
思った。

パネル展示を見て

1月14日 自分の知っている場所などが、昔にはこんな風になっ
(未) いたと考えると、恐ろしくなってくる。今、こんなきれいな神戸に
戻れたのは、当時の人々やちから県の人のおかげなので、感謝したいと思つた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

経験した方の話は、テレビで聞くよりも、何倍も重たく
何倍もリアルだった。防災学習は、とても悲しいけれども、
希望にあふれていた内容だった。こういう学習があるからこそ、
悲しいことがあつたからこそ、みんな志あふることなく1月17日を過ぎて
いるのだと分かつた。自分は1月17日を、志あふることのできない、
志あふとはいけない日だと思つた。

パネル展示を見て

1月14日 ぼくは、あつた、たて物たおれていてびくりに
() た。それをみんななか力をあわせて人をたすけ
ているのを見てやさしいなと思つた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

ぼくは地震でこれほど怖いと思つた。それで、ライフラインとかも全部
このようになくなつたりしてあつた大変な思つた。いかに怖いと思つた
家族とかもなくなつたりしていかに怖いと思つた。つらいな
思つた。ぼくは、その時生かされていかにと講演会を終つた
りパネル展示とかで、すごくおもしろいと思つた。
みんなが力をあわせてやさしい人達だなと思つた。
ぼくは、この地震が起きる前にどこに逃げようかをきき
たいです。それで、いろいろなところから、ボランティアとかかき
たりして、温かいお風呂と思つた。

パネル展示を見て

1月14日

(木) 小さい子でも長い木を倒していたし、
家がつぶれてる写真もあった

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

展示を見て分かったことは、当時ほんとにも大変で、家はつぶ
れて水も火も電気もない状態。で、小さい子もいたし、木を
倒す子どももいてとても大変なんだなと思いました。

家もくずれていて、道路もかきでふうさされていて
車を走れなかったしとても大変だったと思った。

某新聞も毎日作っている。と言っていたし震災の被害もすごいと
いっていたしどこで新聞を作っているのか気がなった。

カメラも全て生き残っていて、なにか、たし記番はどうやって作
っているのかとても気がなった。

パネル展示を見て

1月15日

聞いただけじゃなくて、写真を見ることで、より、

(金) どんなしょうきょうだったのかということがよく分かりました。
たくさん見ることができて、とても勉強になりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

とても勉強になりました。自際に、自分が体験
したことを聞けてよかったです。私は震災を体
験したことがないから、本当のこわさを矢口することはで
きないけれどもし自分があの時生まれていたらと思うと、
しんはいなことや不安なことでは、はいだごと思うから、
もしもの時のために家族どこで持ち合わせをす
るのかとか、いろいろ話し合いたいです。

パネル展示を見て

1月15日 とても信じられない展示ばかりだった。かれ
(金) きの下じきになでう人と助かっとしていた会な
どとても恐ろしかった。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

震災を実際に体験したことはないので本当の「恐ろしさ
というのは分かつにくい所があります。しかし実際に
震災の被害にあった人のお話を聞いて、後世に受け
継ぐことは可能でも、震災はあーしゃんてたくさん
命を奪い、貴族の方々は二十年以上たった今も深
い悲しみを心に刻んでいいます。もう二度とこのような大きな
被害を出してはいけないう震災があった時の防災
についても今一度見直さねえと覚悟が持てると思いました。

パネル展示を見て

1月14日 地震当時の風景が写真におさめ
(木) られていて当時の生活の大変さが伝わ
てきた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

当時神戸新聞社に実際に生で話が聞け
てとてもよかったと思う。神戸新聞社の方も
地震に実際に合っ。その中で新聞を書き続け
るのは大変だなと感じた。今日話を聞いて、今ま
での災害の事もくわしく知れたし、コロナの
時代に災害がおきたときの対策を知るこ
とができてよかったと思う。毎年神戸では、この
震災の事を学習しているけど自際に当時の事
を話して下さったので当時の大変さやしんどさが
伝わってきました。

パネル展示を見て

1月14日 パネル展示で建物が倒壊した様子や
(木) 線路が崩れ、電車が脱線している写真
を見てどのくらい被害が大きかったのかわかることができた

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を聞いて、どんな被害があったか震災当
時と今を比べて知ることができた。地震だけでなく
今まで日本にあった災害などで振り返ったり、当時
どんな新聞を神戸新聞はつくり、つづけていたのかわかるこ
とができた。また、新型コロナウイルスがいる中、災害がおき
たらどうするか避難場所では何を携帯するか、何
をしなければならぬのかや、分散避難について考
えることもできた。災害による被害を減らすため非
常用バックヤや家の中を工夫し、特に地震はいつどこで
おきるのか分からないので、常に備えておくことが
大事なんだと思った。

パネル展示を見て

1月14日

(木) 壊れてぼろぼろになった建物がたくさんあったので地震の
恐ろしさ、被害にあった人の苦勞がよく伝わってきた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

スライドで毎年何回も洪水や地震で町が酷い様子になって
いくのを見て、自然災害が大変なことと改めて普段のい
きのために備えることが大切なのを理解できた。それだけ大変
な災害が、何回来ても、いろいろな人との協力で助け合っ
て、前向きに復興していきたくてすごいな!と思った。今の神戸
があるのは、阪神淡路大震災があっても、毎日努力してし
た当時の人たちのおかげなんだと、地震で一度からっぽになっ
た神戸に「幸せ」を溜めてくれたのはその人たちなんだと、そう思う。

パネル展示を見て

1月15日 建物物がくずれたりして、大きな被害を受けた。
(金)人が埋っていたり、道をふさいだり、車の交通などが
つかない。一人一人の力で一人の命を助けれることを知った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

最初に通っていたときのビルがもう一度通りに倒れていたときいて、
安全だからといって建物の近くには危険 いるの分かる。
地震だけでなく、豪雨や津波、病気など、自然災害は
こわいというあつめを知った。エロ禍の今、アルコール消
毒や、マスクなしを持ち物に入れることが大事
エロ禍がない時は、分散避難を心がけ、知人や親戚の家
ホテルなど安全な場所を特機したほうがリスクが減る
のわかった。毎年のように起こる災害も、一人一人が意識
することで助かる人が増えていき、自然災害はいつ起こるか
分からないため、前もって準備しておくことが大切

パネル展示を見て

1月15日 パネル展示を見て、あんなかんじの写真
(金) は小学校でも見たことあるけど
何度みても怖い町がぐちゃぐちゃだからみんな当時
は、大変だったんだなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて新聞でもあったように人はくらい
言葉やうしろ向きに考えるより明るく前向きに考
えた方がいいんだなと思いました。そうすること
でみんな希望がもてると思います。そのことを
きいにするのはとてもいいことだと思いました。
防災学習は毎年やってるけど同じことでもし
かり昨年のことをふり返って考えることが大切だ
と思いました。
新聞社の人の話を聞いて、やっぱり地震の
免カ強は大切だと思いました。

パネル展示を見て

1月14日 DVD金鑑賞講演会にやがった、たくさんの写真が
(木) あり、建物がこわれている写真を見て、こわく感じました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

自分たちが体験したことがない災害が、ここまで被害が大それた
たくさんの人が亡くなっていることを考えると、自然災害はとても恐い
ものだと、改めて感じました。ぼくが特に一番恐いと思った
のが、地震です。理由は、大きな地震が起これば、被害も大それ
たなる。地震は台風と違い、予想することができない災害だから
です。地震で町の被害が大それたけれど、大それたほど復旧するのに
時間がかかると感じます。なので、ぼくはいつおそるかわからない、被
害がどれだけ大それたかわからない。そんな何もわからない地震が一番
恐いです。次にくる大それた地震は南海トラフ地震です。なので、それを
対策して、南海トラフ地震を乗りこえたいです。

パネル展示を見て

1月14日 沢山写真がはってあって、
(木) とても内容が分かりやすかったです。
とても苦しかっただろうけど、教訓が明らかになりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

改めて、新聞記者さんの偉大さが分かりました...!
大それた中(自分も生きているので)精いっぱい、なのに、
みんなに、一早く情報を届けようとする姿勢と、
その実現に、とても感心しました。
新聞記者さんの必死さと必死さにおどろきと、
感動を覚えました!!
ひがいにあった方達の、新聞作りに協力している
姿から、神戸市民の傷む姿を感じました...!
やはり、地震はこわいで"すね..."。

パネル展示を見て

1月14日 私は教室の周りは張ってあったパネルに火
(木) 事の様子をみると「火の海」とは、こういうものかと

思いました。水が無くして、火を消したくても消せないのは、とても心が
苦しかったです。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は、小学校の頃にも、毎年1月17日に兵庫県南部地震につ
いて学習していましたが、今年は兵庫県南部地震が起
こった当時の写真を見たり、当時の新聞記者の方にお話を
聞き、深く当時のことを知り、気がします。私はほとんどが火で
おおわれている写真を見た時に、この写真は神戸の写真なのか
と思いました。また震災から、30年も経っていないのに、神戸
は早く復旧できたのは、とてもすごいと思います。きっと神戸の
みなさんが協力し、生きていくのも必死というのに、神戸のた
めにがんばってくださったのだと思いました。本当に神戸の町
がこんなにきれいなのは、当時のみなさんのおかげと思いました。

パネル展示を見て

1月 日

() パネルには震災の状況がよく分かって防
災の意識が高まりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今、コロナがはやっているなかでの災害が起こっ
たときのひな人をどうすればいいのかとい
うことも、しっかり知ることでできて、いろいろ
な災害の恐ろしさが分かった。

そして、新聞社が記者とかみんなまでがんば
っていたから新聞を出すことができたのだと思
う。

そして、これがもし地震がいつくるか分からな
いので、胆気をつけて過ごしたいと思いま
した。

パネル展示を見て

1月14日 いろいろな写真があって、中でもひなんしている
(木) 人の写真が心に残りました。他にも大変さ
が分かる写真がたくさんありました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞社の人には、いろいろな災害について記事を作
らないといけなくて、そのたびに苦しい思いをしていると思
うと、心がいたみました。でもその一枚の新聞で、ひ
をうけた人が、少しでも、安心できるなら、苦しい思いも、
むたではないなと思いました。「しあわせはこべるように
という曲は小学校の時にも何度も聞いて、歌ったけ
れど、当時の話を聞くと、あらためて、大切にしな
いといけな曲だなと思い、伝えていかないと、
いけなると、思いました。